

民事裁判手続に関する委員会

抑止的付加金

第11分科会

平成23年11月11日

パシフィコ横浜

文責：永島賢也

基調報告書 315ページ

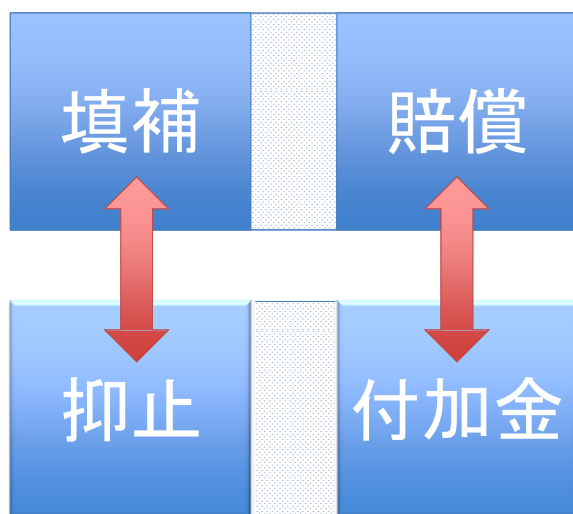
抑止的付加金

抑止的付加金

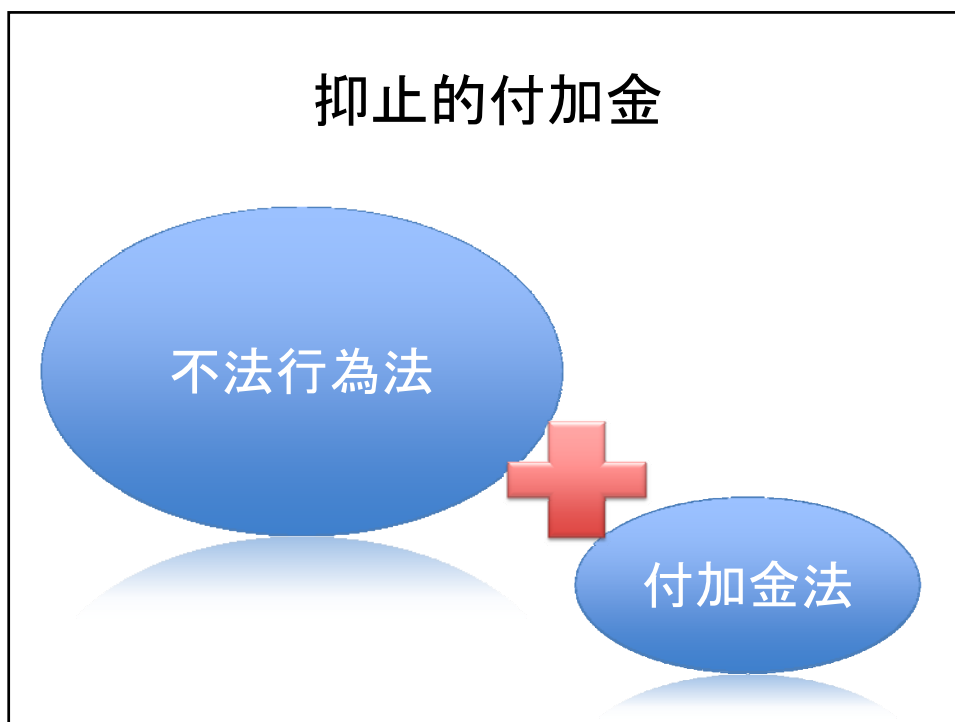
填補賠償



抑止的付加金



抑止的付加金



経済活動

- 他人の遊んでいる土地を駐車場にして売上を得る
- 使用されていない特許を利用して製品を作る
- 他人の名誉やプライバシーにかかわる記事を掲載した週刊誌を販売する

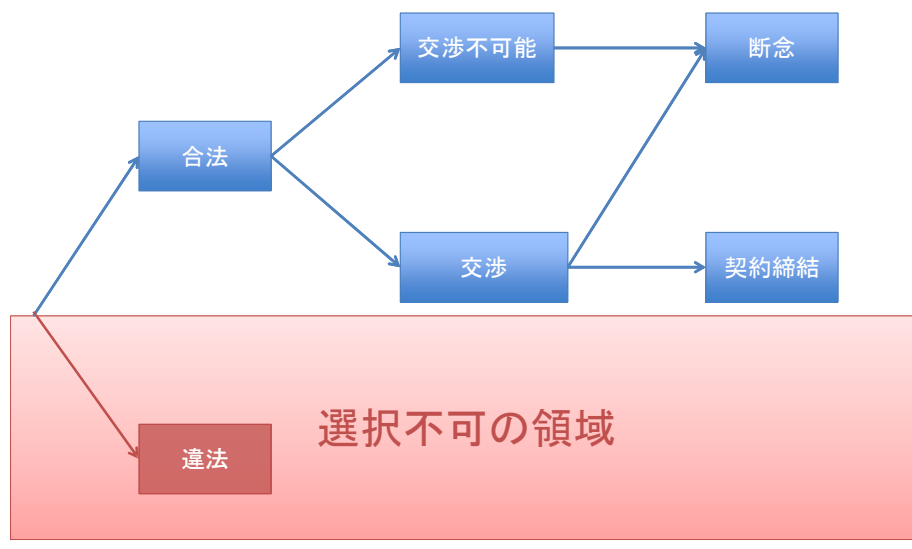
フリーライド型・利益追求型

他人の土地所有権を侵害して使用利益を取得する

海賊版タイプ（他人の特許の無断利用）

マスメディア・タイプ（名誉・プライバシー）

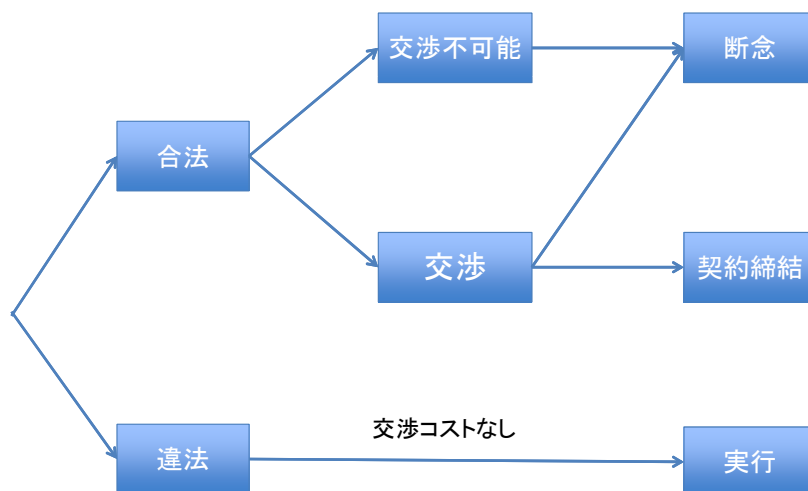
行為の選択

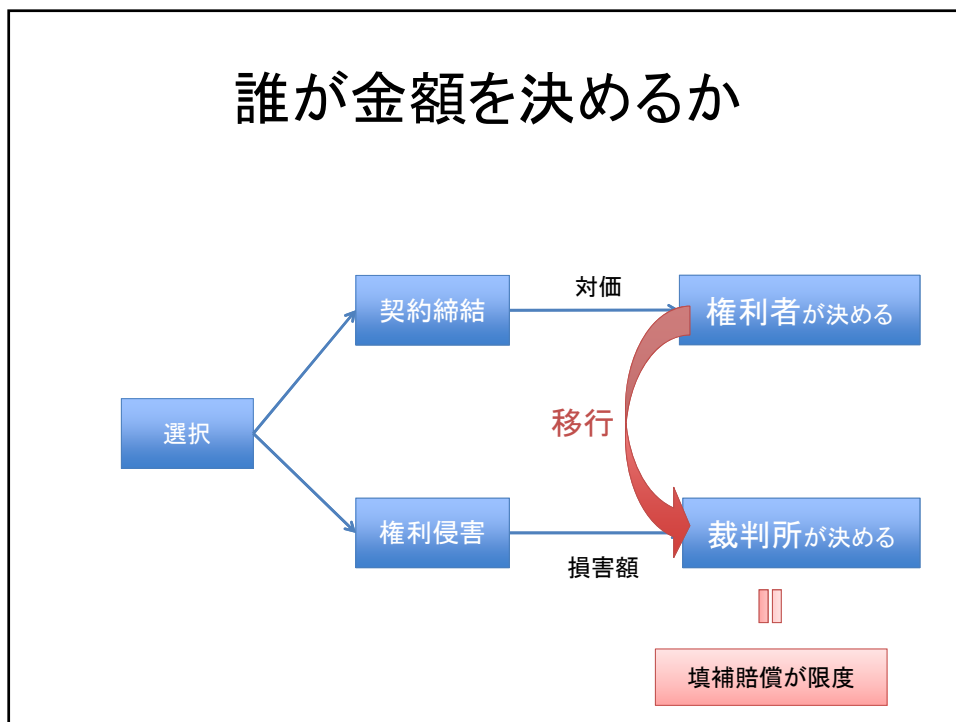
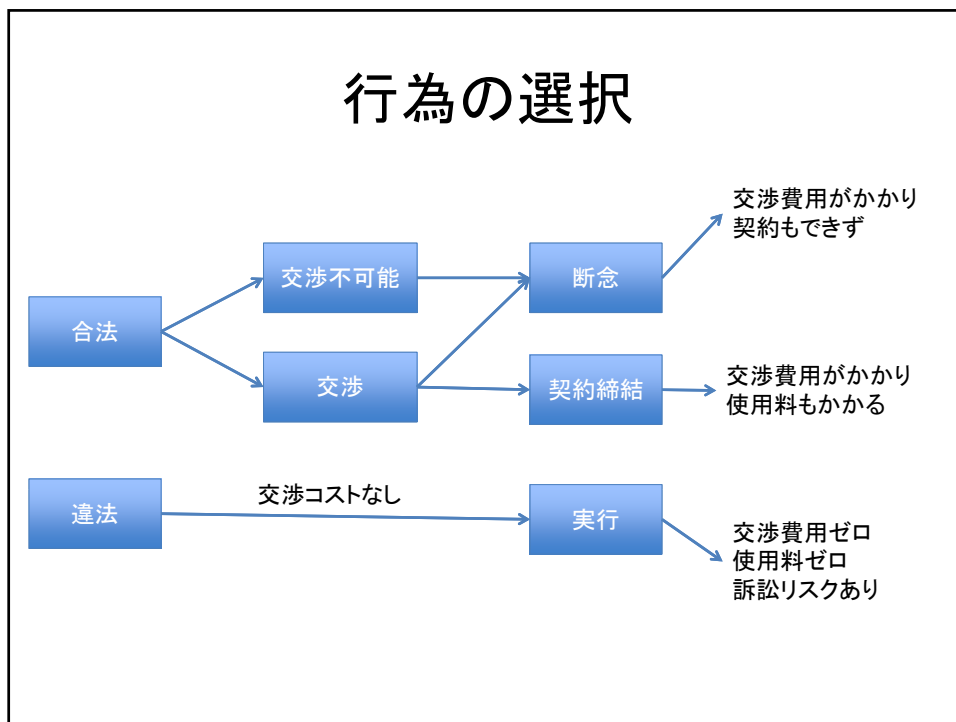


経済力のある主体

- 仮に、損害賠償請求がなされたとすれば、どのくらいの賠償額になるか
- 計算上、賠償額を充分上回る利益が見込まれる
- 必ず、訴えられるとは限らない
- 交渉にかかる時間と費用もバカにならない

違法行為という選択肢





違法行為(権利侵害行為)

- 必ずしも、「違法行為は割に合わない」とは、限らない！

付加金法(仮)

- 不法行為に基づく損害賠償責任を負う者が、不法行為のとき、次の各号のいずれかに該当する場合、実損害額の3倍までの付加金を課することができる。
 1. 当該不法行為が、裁判所の判決、決定、命令に違反するものであることにつき、行為者が故意と認められる場合
 2. 当該不法行為が、第三者の生命、身体を害することにつき、行為者が故意と認められる場合
 3. 当該不法行為が、第三者の憲法上保障された権利を害することにつき、行為者が故意と認められる場合

割に合う違法行為を抑制しよう

割に合う権利侵害



権利侵害は割に合わない